

国土交通省 東京航空局
東京空港事務所 空港安全部
空港保安防災課
係員 内野 康太



<はじめに>

私は、令和7年1月に航空保安防災職員として採用され、現在は東京空港事務所空港安全部空港保安防災課で勤務しています。航空保安防災職員は全国異動があり、国管理空港や国土交通省航空局（霞が関）、空港保安防災教育訓練センター（長崎）、東京航空局及び大阪航空局が主な勤務地です。

<業務内容>

私たちの業務は大きく「航空保安対策業務」「空港保安業務」「空港防災業務」の3つに分けられ、国際民間航空条約や航空法など様々な法令や規程等に基づいて業務を行っています。

簡単にはなりますが、それぞれの主な業務内容について紹介します。

<航空保安対策業務>

航空に関する危機管理における事務のうち航空機のハイジャック、破壊行為その他航空に関する犯罪を防止するため航空会社等の空港関係者や警察等と連携を図り、ハイジャックやテロ等の防止を行っています。

<空港保安業務>

日頃より空港関係者や警察等と連携を図り、空港への不法侵入を未然に防ぐため空港におけるセキュリティを確立し、航空機の安全な運航を見守っています。また、空港への出入り管理や巡回警備等の空港警備業務に従事する請負事業者の業務監督を行っています。

<空港防災業務>

空港及び空港周辺における航空機に関する事故その他空港等における事故及び空港等における火災をはじめとする災害に関する業務を行っています。

東京国際空港（羽田空港）では、大型化学消防車等の車両及び各種資機材を運用し、事故等が発生した場合は消防要員として現場に出動し、消火救難業務に従事する請負事業者および東京消防庁等と連携して、消火救難活動を行います。

羽田空港以外では、緊急事態や事故が発生した場合には災害現場等での指揮・調整をとります。

また、各空港において特徴は異なりますが、様々な事案に対して迅速かつ的確に対応するため年間を通じて関係機関と各種訓練を実施し、不測の事態に備えています。

<私の仕事とそのやりがい>

私が所属する空港保安防災課は、航空機事故のほか保安業務も行っており、空港内で発生した事故事件等の現場に出動し、最前線で危険と隣り合わせの中、空港の安全を確保し秩序を維持しながら活動しています。

特に航空機事故では、航空機に燃料を搭載しており事故が発生すると大規模な火災が発生することから、人命救助を優先することが非常に重要となります。空港消防では事故が発生した場合に乗客・乗員が避難するための脱出経路の確保や火災による機内の高温を防ぐための機体冷却を行うことが重要で、助けを求める人のもとにいち早く駆けつけ、手を差し伸べることができるこの仕事に、とてもやりがいを感じています。

また訓練の中で最も緊張と興奮する体験をしました。それは、国際基準で決められている滑走路末端までのタイム測定で大型化学消防車を100km以上のスピードで運転することができ、空港消防でしかできない経験ができます。

<職場の雰囲気>

人命救助という消防の使命達成のための訓練などに真剣に取り組む先輩に囲まれ、日々充実しています。命に関わる仕事のため厳しい指導もありますが、休憩時は和気あいあいと話し合い、まるで家族のような職場です。人の命を助けることも重要ですが自分の身を守ることもかなり厳しく指導されます。この仕事に入り一番大切なものは普段の勤務で先輩とのコミュニケーションを取ることです。緊急事態でお互いが信頼できてこそ人命救助ができます。空港化学消防車は2名で運用し出動時にお互いの役割を果たすことが重要なことから普段の職場の雰囲気はとても大切なことだと感じました。



<最後に>

私は、空港の現場で働くことができる点に惹かれて航空保安防災職員に応募しました。新卒として入省したため保安や消防の知識はもちろん、社会人として何も分からない状態で勤務が始まり不安でしたが、上司や先輩方に様々なことを教えていただき、日々勉強しながら業務に携わっています。

また、前述した業務内容に付随して、大型化学消防車や救助用機材の点検、その他に空港管理に関する許認可業務等の事務があり、覚えることが多く大変ですが、他の部署や関係機関等、多くの方々と関わることで前向きに取り組むことができます。

航空保安防災職は、日本の基幹インフラである民間航空を守る職種であり、航空ネットワーク拠点となる空港の安心・安全を守るというやりがいや使命感を持つことができる職業です。

皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしております。

国土交通省 大阪航空局
鹿児島空港事務所 総務部
航空保安防災課
係員 高橋 昂誠



【はじめに】

私は令和6年4月に航空保安防災職員として採用され、現在は鹿児島空港事務所総務部航空保安防災課で庶務を担当として勤務しています。航空保安防災職は全国異動があり、国管理空港の他に国土交通省航空局、空港保安防災教育訓練センター、東京航空局及び大阪航空局を主として勤務します。

【業務内容】

私たちの業務は、大きく分けると「航空保安対策業務」「空港保安業務」「空港防災業務（消火救難業務）」の3本柱があり、国際民間航空条約や航空法など様々な法令や規程等に基づき業務を行っています。

それぞれの業務について、簡単になりますが紹介させていただきます。

<航空保安対策業務>

航空に関する危機管理のうち航空機のハイジャック、破壊その他航空に関する犯罪を防止するために警察や航空会社等と連携を図りハイジャックやテロ等の防止に尽力しています。

<空港保安業務>

日頃から空港内の不法侵入対策を実施しており、空港を利用されるみなさまの安心・安全を守るためにセキュリティ強化に尽力しております。

<空港防災業務>

空港及び空港周辺における航空機事故又は航空機の運航に支障をきたす一般火災並びに災害に関する業務を行っています。

東京国際空港（羽田空港）では、事故等が発生した際、消防要員として現場に出動し、直接消火救難業務を行うほか、消火救難業務に従事する請負事業者及び東京消防庁等と連携を図り、人命救助を最優先に消火救難活動を行います。

鹿児島空港では、消防要員として消火活動は行いませんが、消火救難業務に従事する請負事業者への指揮指令、監督及び調整等の業務を行っています。また、各空港において特徴は異なりますが、年間を通じて関係機関と様々な事案に対して迅速かつ的確に対応するため、各種訓練を実施し不測の事態に備えています。

【最後に】

私は22歳で入省し、社会人としても経験が浅く、何もわからない状況でとても不安でした。しかし、航空保安防災課の先輩方はとても優しく丁寧に業務を教えてください、難しい業務内容でもチャレンジすることができました。

私たちの職種は、紹介させていただいた業務のほかにも各種訓練や許認可業務等を通して、空港関係者の方々と積極的にコミュニケーションを図り、空港で勤務する関係者の皆様と共に、航空の安全を守るという一体感を感じており、その第一線で責任ある立場で働くことができるとてもやりがいのある職場です。その他にも、全国に異動先があることで、人との出会いやその土地ならではの楽しみもある魅力的な職場です。

この職場で仲間として一緒に空港の安心・安全を守るクルーとして一緒に働きましょう。